

令和4年度 第1回島根県企業局経営計画評価委員会

日 時 令和4年8月2日(火)

14:00～16:00

場 所 島根県民会館 大会議室

○委員長

どうぞよろしくお願ひいたします。暑い日が続いて、熱中症警戒アラートが出ている最中
でございますが、熱中症とコロナの両面が今問題になってございますので、皆さん、健康
に気をつけながらやっていきたいと思ひます。今日の議事について1から4までございま
すが、何か途中でお話しすることがございましたら、皆さん、所属とお名前をしっかり言
ってから、ぜひマイクを使ってお願ひいたします。コロナっていうのは今、距離と、そし
て時間、そして換気、この3つが今非常に大事になっておりますので、距離は十分取って
いますので、マイクを使ってお言ひをお願ひしたいと思ひます。

それでは、次第に従って会議を進めます。

議事の1番、令和3年度各事業の実績についてというのと、議事の2番、令和3年度各
事業会計決算の概要について、議事3番、企業局経営計画令和3年度の取組状況について、
事務局から一括して説明をお願ひします。

(事務局説明)

○委員長

ありがとうございました。ここまで説明をお受けしましたので、これから委員の皆さ
んに御意見、御質問をお願ひしたいと思ひます。手を挙げて所属とお名前を話して、それ
から御意見をお願ひします。どうぞよろしくお願ひいたします。

○委員

資料3の電気事業で、左側の成果指標の年間故障停止時間の水力発電が目標値に対し
て多い時間となっているが、これに対応した、故障停止時間の原因が何かと、それに対し
て、対応がどうなっているのかというところが分かりましたらお願ひいたします。

○企業局

故障停止時間でございますが、具体にはこの停止時間は八戸川第一発電所の2号機が、落雷により発電機を焼損いたしました。これによる修理時間となっております。これが主な1点目。もう1点が、三成発電所でも同じような落雷による事故がありました。こちらは発電機が焼損しておりませんが、同様な故障があったということで、停止時間が非常に多くなっております。これへの対策ですが、ここは低減した部分だけを記載しております、故障のことについては触れておりません。以上でございます。

○委員

分かりました。今年は特に落雷での故障時間が多かったということですかね。その毎年目標値が220になっていて、例年はそういうことはあまりなくて、今年が特別そういうことが多かったのでしょうか。

○企業局

そのとおりでございます。落雷による発電機が焼損するといったことは今までに経験がございません。

○委員長

ありがとうございました。確かに落雷は珍しい事故でございました。それに対して、丁寧に早く対応されたということでございます。

そのほかございますか。

○委員

2点ほど、資料3の5ページ個別的取組①の資料から。まず、1点目に、技術力の継承というところで、保安のスマート化という点に関して、今の時代、技術がどんどん発展してきており、ドローンなどを用いた保安というのは、非常に大事になってきます。現状でどの程度うまく継承が行えているのか。もう1点が、わかりやすい情報発信のところで、SNSの運用もうまくいって、メディアミックスを考慮した情報発信に力を入れておられるのですが、この新しい情報発信の取組について、今後投稿発信の回数を増やしていくとか、今後どのような取組をしていくのかについて、ちょっと疑問に思いましたので、回答いただければと思います。

○企業局

ドローンによるスマート保安の部分でございます。資料3の2枚目の工業用水道事業での画像があります。ドローンによりまして、川の上空から埋設する配管を撮影して状況確認というのをやっております。また、最近になって免許の取得や製品の購入をしております。

して、ドローンの取り組みを始めたばかりであります。これからいろいろ今回のような水道施設だけでなく、発電施設でも利用を検討しております。同じく資料3、1枚目電気事業の画像3の勝地発電所の取水口ですが、ここは大雨が降りますと、職員が現場に行けませんので、今は監視カメラをつけております。この監視カメラに異常があるとか、その他カメラが置いてない場所もございますので、そういったところへドローンでもって巡視するといったことも考えております。

情報発信については、この次第の後で発表、説明させていただきます。

技術継承の補足ですが、ドローンの操縦は資格を持った若手職員が行いますが、どこを見るかと言ったときには、OB職員が今までの経験を生かして、「このポイントを見るといいよ」とアドバイスするようなOJTを行っています。

また、実際に再任用職員によるOJTを行っている写真が取組状況の5ページ目の3番にあります。これは職員が鉄管の中にライト付きのカメラを挿入し、スマートフォンの画面を見ながら確認をしているとことです。これまでは直接目で見ながら確認してしまいましたが、現在では最新の機器を使用しながら若手職員へ指導し技術継承を行っています。

○委員長

丁寧にお答えいただきましてありがとうございます。そのほかありますでしょうか。

○委員

3点お願いします。1点目、太陽光発電ですけれども、目標値を上回りながら、なぜ決算がマイナスなのでしょう。目標値は上回っているのに、令和2年度が極端に多かったというこの理解でよろしいでしょうか。2点目は、水質の関係で、原水色度が上昇したために、何日か水質目標値を達成しなかった日がありますが、住民の方には特に影響がなかったのでしょうか。最後に、情報発信のところですが、ホームページのアクセス数がすごく極端に増えているのが、さんいん学問のクイズの答えをホームページに掲載する仕掛け方もあるのだなと思いました。ツイッターを私もフォローをしており、施設の様子とか、活動の様子とか、時には花とか、この前はべた踏み坂の朝日とかも見せていただいて、とても心が和んでおります。若い方に興味を持ってもらうためには、必要だと思いました。

○企業局

それでは、1点目の太陽光発電のことについて御回答させていただきます。令和3年度の太陽光発電は目標を大きく上回っておりますが、令和2年度はさらに上回っております。令和2年度の供給電力量が9,376メガワットアワー、令和3年度が9,030メ

ガワットアワーで、令和3年度は令和2年度の96.3%でございました。この差は何かといいますと、確かに昨年度、冬は天候がよかったのですが、令和3年度は、夏に大雨が降り、天候が悪かったために、夏場の太陽光発電量が鈍化し、令和2年度と比べて令和3年度は供給実績が伸びなかったと解釈しております。

2点目、水質の目標値を超えた件ですが、色度と濁度、残留塩素がそれぞれ目標を超えています。企業局の目標は水道法上の水質基準よりも厳しく設定されています。例えば浄水池濁度は0.1度を超えています。水道法の水質基準の上限は2度なので、家庭に届く水道水としては全く問題なく安心して飲んでいただいても大丈夫なレベルです。

情報発信については、この後に御説明します。

○委員長

ありがとうございました。そのほか、ございますか。

○委員

2点ございます。まず1点目は、資料3の1枚目中段の一番下になります⑧のFIT制度終了後の施設のあり方検討について。今はFITでいい条件で売電をされて、中国電力が買い取る。FIT終了も視野に入れ、例えば企業局さんが発電をした電力を県有の施設の電気として、地産地消とか、自前で発電し自前で使うとか、FIT終了後の方向性について。

もう1点は、江津拠点工業団地について、山陰自動車道整備が、今、進んでおり、アクセスがかなり改善される見込みですけれども、これに併せまして既に商工労働部と一緒に誘致企業、取組されている、先ほどの説明では2先ですかね、交渉があるというようなお話でしたけれども、今後の新たな新規開発、造成、分譲も含めまして、この山陰自動車道などのインフラ整備、これが進むことによる民間企業の反応はどのような状況でしょうか。

○企業局

1点目のFIT制度終了後のあり方検討について。現在、電力の関係法令、それから、取り巻く状況がすごい勢いで変わっております。その中で、やはり地産地消というのは非常に重要視しております。この先、状況がどうなるか分かりませんが、地産地消も含めてFIT終了後の在り方を検討しているところでございます。

江津工業団地の強みや状況についても、後ほど御説明いたします。

○委員長

ありがとうございました。議事の4番になります。各事業の取組状況について、事務局から順次説明をお願いします。

(事務局説明)

○委員長 ありがとうございました。

ただいまの説明について、御意見、御質問等お願いしたいです。

○委員

工業団地がある江津市から参っていますが、年々と広がっていくのを頼もしく見ております。私も今回こういうところに出てきてみて、企業局というものはこういうお仕事をなさっていたのだということを知るぐらい非常に無知なところがございまして、この工業団地がこんな形の中でこんな特徴を持って進んでいること自体も、地元の我々が本当どれだけ知っているだろうかということを考えさせられました。この機会に地元の人とのバスツアーを組んで、水道だとか電気だとか、風力発電だとか、見学をする中で少し勉強をする機会があればPRになるのかなということを思っております。

○委員長

ありがとうございました。

これだけ企業局が情報発信をしています、民間の目から見て、どうですか。

○委員

どんな質問でも皆さんが自分のこととして答えられるところが、私とてもすばらしいと思いました。全てのことに関してどなたも揺るがず、きちっと物を申されるところが、すばらしいなと思い、私は本当にお褒めしたいような気持ちでした。ありがとうございます。ですが、1つだけ言っておきたいのは、一般のものは、10円、100円、1,000円の単位のお金から大事にして生活しております。公共のお金ですので、大事に使っていただきたいなと思います。以上です。

○委員長 ありがとうございました。

○委員 全体を通して感じたのが、皆さんの企業局の職員の皆様の素早い対応で私たちの生活が守られているということ、今日は実感いたしました。それと、発電事業で供給率が100%超えたり、100%に近かったりするが、売電率が低いのが、腑に落ちないです。

○企業局

売電の達成率が100%を達していないことについてお答えさせていただきます。資料1の1ページ目に記載している売電の率ですが、水力発電、風力発電、太陽光発電、種類別に記載しております。その中で、風力発電はほぼ100%、太陽光発電は109.3%ですけれども、全体に占める割合が一番大きい水力発電が100%を切ると、合計も目標を達成することが難しい状況となっております。水力発電については、雨量に影響されます。昨年度については10月以降の雨が極端に少なかったこと。さらに、冬は雪が昔と比べて本当に少なくなっておりまして、その影響で水力発電が88.6%となっております。結果として、合計92.2%となっております。

○委員長

全体通じてでも、今の御説明のところでも結構ですが、何かコメントをいただけたらと思います。御意見あるいは御質問でも結構でございますので、よろしくお願いします。

○委員

今日の議題とは直接関係はないですが、バランスシートのストックですね、資産の負債の資料はないのでしょうか。企業局の場合は、やはりどっちかいうとストックのほうが会計上は大きな意味を持つと思っています。端的な指標として、企業債の残高です、起債、残高はざっとどれくらいあるのでしょうか。

○企業局

お手元の令和4年度企業局の概要の7ページを御覧いただきたいと思います。これの4番の決算状況の令和3年度決算総括表の真ん中に負債の部、固定負債というところがございまして、これは約280億余り、お借りしているというような状況でございます。

全体で4事業会計とも内部留保資金もございますし、今回の予算は見えにくかったところでございますけれども、会計上は非常に健全な経営をしているというふうに思っております。

○委員長

ありがとうございました。

私から、質問を1点だけ。

このFlood Lyricsを使って情報発信することを決めたのは、誰かアドバイザーがいたのか、それとも若い人がこれを提案したのか、今日いらっしゃるベテランの皆さんがいつって言ったのか、どうなのでしょう。この取り組み自体が企業局のすばらしさ

であり、個人的な驚きでした。どういった経緯で新しいところに踏み出そうとされたのか

○企業局

実は若い人に向けた情報発信ということで、委託事業者を公募しました。2社応募がございまして、そのうち1つがFlood Lyricsで、全会一致で決まった次第でございまして。

○委員長 分かりました。

このように前回の会議の中でSNSの話が出て、そして、こういった対応されていることが素晴らしいことです。守る企業局、自然を相手ですから、様々な出来事に対して委員会つくられたり、ワーキンググループがつくられたりして、一方では、江津の工業団地なんかもやって、攻める企業局の一面もあって、企業を回られたり、商工労働部とやり取りしたりとかってというような部分。そして、今回、この可視化をしようという努力ですね、ドローン飛ばしたり、内視鏡みたいに穴の中にカメラ入れたり、様々な角度から企業局が御努力されているっていうのが、今日の委員会でも非常によく分かったと思います。委員さんの中にも、今日ここに出てきていろんなことが分かった委員さんもいらっしゃるように、こういった可視化で分かりやすく御説明されるっていうのは、これからも引き続いてお願いしたいなっていうふうに思います。以前に比べると、本当に図も多いし分かりやすい、そして、絵まで描いていただいたりして、本当に感謝しています。いろいろ御意見出ましたけれども、委員の御意見について十分に御検討の上、今後の企業局の業務運営に生かしていただきたいと思います。

そろそろ時間参りましたので、本日の議事を終了したいと思います。委員の皆様方には議事進行に御協力いただきまして本当にありがとうございました。